

## 2019年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2018年10月10日

上場会社名 株式会社 サンデー 上場取引所 東  
 コード番号 7450 URL <http://www.sunday.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 暢朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 和嶋 洋 TEL (0178) 47-8511  
 四半期報告書提出予定日 2018年10月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年2月期第2四半期の業績 (2018年3月1日～2018年8月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第2四半期	25,454	0.6	291	△62.9	324	△59.5	172	△70.0
2018年2月期第2四半期	25,310	0.8	786	3.2	802	2.9	575	37.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第2四半期	16.04	15.97
2018年2月期第2四半期	53.45	53.24

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第2四半期	34,070	10,651	31.1
2018年2月期	32,710	10,582	32.2

(参考) 自己資本 2019年2月期第2四半期 10,595百万円 2018年2月期 10,532百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	ー	0.00	ー	10.00	10.00
2019年2月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2019年2月期 (予想)	ー	ー	ー	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年2月期の業績予想 (2018年3月1日～2019年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	4.6	620	7.6	640	4.4	320	△6.8	29.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期2Q	10,770,100株	2018年2月期	10,770,100株
② 期末自己株式数	2019年2月期2Q	1,921株	2018年2月期	1,856株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期2Q	10,768,223株	2018年2月期2Q	10,765,616株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2018年3月1日～2018年8月31日)における東北地方の経済において、雇用環境の改善は継続しておりますが、原油価格の上昇などに起因した日用消耗品や食品などの値上げがあったため、消費者の生活防衛意識は高い状態が続いており、個人消費は力強さを欠くものとなりました。

このような環境のもと、既存店の競争力強化を目指し、寒河江店、天童南店、山形北店、南館店、北村山店の活性化を実施いたしました。これらの5店舗では、店舗設備、品揃え、サービスの新装に取り組んだほか、専門店化したカテゴリーの新規導入などを実施した結果、ご来店されたお客さまからご好評をいただいております。

また、山形県内の店舗はこれまで「ジョイ」として営業を続けてまいりましたが、今後の成長戦略に資するブランド構築を目指し、全店舗の屋号を「サンデー」に変更いたしました。このため店舗設備や看板に対する投資が発生し、営業利益を引き下げる要因となりました。

新規出店といたしましては、岩手県釜石市に2店舗目となる釜石港町店を7月26日に開店いたしました。この店舗ではサンデーバイク、サンペット、フラワーショップなどの専門店化した売場を作り新しい商品を提案いたしております。また、カーピットを併設したカー用品専門店の“GATERA”を導入し、カー用品の販売だけではなく愛車のメンテナンスなど、地域に暮らす方々のカーライフ充実に貢献してまいります。さらに、観葉植物などを鑑賞しながらコーヒーを飲み、くつろいでいただけるカフェコーナーを設置し、既存店舗とは異なる新しい利用方法を提案してまいります。

商品面といたしましては、節約志向が継続している消費者へ低価格で提案した日用品やリカーの販売は好調に推移いたしました。しかし、3月の降雪や低温、5月の天候不順、7月から8月にかけて多数発生した台風や豪雨などの影響を受け、季節商品の販売は低調に推移いたしました。また、3月に気温が前年を下回る日数が多かったことで灯油の販売量が増加したことや7月と8月に気温が高い日が続いたことで飲料の販売量を押し上げたことなどが、荒利益率を低下させる一因となりました。一方で、気温が急に変動したことで光熱費が増加し営業利益を減少させる要因となりました。さらに、労働力人口の減少に起因する人件費増加、ガソリン価格高騰やドライバー不足などに起因する物流費上昇などの影響により販管費が増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における当社の売上高は254億54百万円(前年同期比1億44百万円の増)、営業利益は2億91百万円(前年同期比4億95百万円の減)、経常利益は3億24百万円(前年同期比4億77百万円の減)、四半期純利益は1億72百万円(前年同期比4億2百万円の減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に対して13億59百万円増加し340億70百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加1億61百万円、新規出店等に伴う商品及び製品の増加4億48百万円、受取手形及び売掛金の増加1億66百万円、有形固定資産その他(建設仮勘定等)の増加1億82百万円、投資その他の資産(差入保証金等)の増加2億94百万円等によるものであります。

負債については、前事業年度末に対して12億91百万円増加し234億19百万円となりました。これは主に商品仕入増加などによる支払手形及び買掛金の増加18億94百万円、短期借入金の減少11億10百万円、未払法人税等の増加1億50百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加1億20百万円等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に対して68百万円増加し106億51百万円となりました。これは主に四半期純利益1億72百万円の計上と配当金の支払い1億7百万円等によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月期通期の業績予想につきましては、2018年4月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2018年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	659,768	821,215
受取手形及び売掛金	338,518	505,365
商品及び製品	9,497,122	9,945,469
原材料及び貯蔵品	113,900	150,112
その他	643,920	797,177
流動資産合計	11,253,229	12,219,340
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,338,430	7,264,276
土地	8,493,600	8,493,600
その他(純額)	2,435,146	2,617,690
有形固定資産合計	18,267,177	18,375,567
無形固定資産		
その他	75,636	66,852
無形固定資産合計	75,636	66,852
投資その他の資産		
その他	3,122,173	3,416,299
貸倒引当金	△7,694	△7,654
投資その他の資産合計	3,114,478	3,408,645
固定資産合計	21,457,291	21,851,065
資産合計	32,710,521	34,070,405
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,956,453	9,850,480
短期借入金	2,100,000	990,000
1年内返済予定の長期借入金	1,964,400	2,084,400
未払法人税等	95,659	245,821
賞与引当金	310,182	508,242
その他	1,711,608	1,801,538
流動負債合計	14,138,303	15,480,483
固定負債		
長期借入金	5,757,300	5,740,100
退職給付引当金	272,703	251,765
資産除去債務	701,762	728,722
その他	1,258,241	1,218,332
固定負債合計	7,990,007	7,938,920
負債合計	22,128,310	23,419,403
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,241,894	3,241,894
資本剰余金	3,256,739	3,256,739
利益剰余金	4,017,764	4,082,784
自己株式	△1,537	△1,660
株主資本合計	10,514,861	10,579,758
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,635	15,778
評価・換算差額等合計	17,635	15,778
新株予約権	49,714	55,465
純資産合計	10,582,211	10,651,001
負債純資産合計	32,710,521	34,070,405

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年3月1日 至2017年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)
売上高	25,310,604	25,454,977
売上原価	17,605,006	17,775,175
売上総利益	7,705,598	7,679,801
販売費及び一般管理費	6,918,618	7,387,928
営業利益	786,979	291,873
営業外収益		
受取利息	1,883	1,656
受取配当金	1,795	1,805
受取手数料	4,288	4,340
受取賃貸料	55,278	57,426
その他	15,459	38,699
営業外収益合計	78,705	103,929
営業外費用		
支払利息	34,362	32,466
賃貸費用	19,903	22,554
その他	9,090	16,110
営業外費用合計	63,356	71,131
経常利益	802,328	324,671
特別利益		
受取補償金	167,936	—
特別利益合計	167,936	—
特別損失		
固定資産除却損	19,850	29,618
店舗閉鎖損失	23,067	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	11,641	—
減損損失	67,083	—
特別損失合計	121,643	29,618
税引前四半期純利益	848,621	295,053
法人税、住民税及び事業税	315,721	182,796
法人税等調整額	△42,484	△60,445
法人税等合計	273,236	122,351
四半期純利益	575,384	172,702

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	848,621	295,053
減価償却費	514,741	536,946
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△40
賞与引当金の増減額(△は減少)	49,861	198,060
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	△31,523	4,295
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△1,940	△1,997
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,296	△20,937
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	9,882	△41,764
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△52	△593
受取利息及び受取配当金	△3,679	△3,462
支払利息	34,362	32,466
受取補償金	△167,936	—
固定資産除却損	19,850	29,618
減損損失	67,083	—
売上債権の増減額(△は増加)	△164,612	△166,846
たな卸資産の増減額(△は増加)	△643,098	△484,559
仕入債務の増減額(△は減少)	2,045,849	1,894,027
その他	△102,807	△39,192
小計	2,470,307	2,231,073
利息及び配当金の受取額	1,918	1,931
利息の支払額	△34,916	△32,439
補償金の受取額	167,936	—
法人税等の支払額	△285,841	△27,819
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,319,403	2,172,744
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△105,000	△105,000
定期預金の払戻による収入	105,000	105,000
有形固定資産の取得による支出	△1,414,080	△477,445
無形固定資産の取得による支出	△10,515	△2,725
貸付けによる支出	△2,000	△240,000
貸付金の回収による収入	37,441	31,912
差入保証金の差入による支出	△4,054	△101,822
差入保証金の回収による収入	10,053	11,024
その他	△21,585	△36,757
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,404,740	△815,813
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,880,000	△1,110,000
長期借入れによる収入	3,500,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,003,088	△1,097,200
自己株式の取得による支出	△108	△122
配当金の支払額	△107,512	△107,503
その他	△78,315	△80,658
財務活動によるキャッシュ・フロー	△569,024	△1,195,484
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	345,638	161,446
現金及び現金同等物の期首残高	501,073	554,768
現金及び現金同等物の四半期末残高	846,711	716,215

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

I 前第2四半期累計期間(自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)

当社は、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)

当社は、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。